

## がん教育実施報告書

学校名	郡山市立安積第二小学校
実施対象者 (学年・保護者など)	5年生(52名)
教育課程の位置づけ	学級活動
実施日時	令和6年11月14日(木) 10:30~11:15
打合せについて	【1回目】方法:電話 内容:講師派遣申請、児童の事前アンケート結果送付について 等 【2回目】方法:電話、メール 内容:駐車場について
外部講師 職・氏名	(公財)ときわ会常磐病院院長 新村浩明 様
実施内容	<p>【めあて】</p> <p>(1) がんについての正しい知識(予防できること、早期発見によって治癒する可能性が高いこと)を理解する。</p> <p>(2) 健康と命の大切さについて考えることができる。</p> <p>【指導過程、授業の様子】</p> <p>(1) 「がん」とはどのような病気か(原因、どこにできるか、治療など)</p> <p>(2) 「がん」の対策(生活習慣、特に喫煙とその影響を重点的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喫煙、受動喫煙、イエローグリーン運動、電子たばこの理解、3つの対策(たばこ、子宮頸がんウイルス、検診) 他</li> </ul> <p>(3) 健康と命の大切さについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分にとって大切な人へ、「がんにかからないためのメッセージ」を考え、伝えること 薬物依存の入り口としてのたばこ</li> </ul>
	   

## 【児童の感想（ワークシートから引用）】

○がんによる死亡者が最近横ばいになっていると聞き、私は医学の進化を感じました。死亡の確率が増えていないことにうれしく思いました。（女子）

○福島県はたばこを吸う人が全国で1位ということにがっかりしました。だから私は食事のバランスに今から気をつけて、しょうらいたばこを吸わないようにしたいです。（女子）

○ぼくは、たばこががんの原因だとわかっていたけど、お酒や運動不足もよくないとは知らなかったのでびっくりしました。ぼくのお父さんはたばこをたくさん吸うので、「たばこをあんまり吸わないほうがいいよ」と教えます。（男子）

○ぼくは新村先生に聞いたことでおどろいたのは、自分はたばこを吸ってなくても近くの人がたばこを吸っていれば自分もけむりを吸ってがんになる（かもしれない）ということです。（男子）

○親が電子たばこを吸っている。親の電子たばこは大丈夫といていたけれど、けむりとおいがないだけで紙のたばこと同じくらいの危険性があるということを初めて知ったのでびっくりしました。親に伝えてみたいです。私もたばこを吸わないようにしたいです。（女子）

○初めて知ったことはがんができるのは細胞が分裂している時の変異でがん細胞ができるということです。そしてこのがん細胞を正常に戻したり消したりすることを繰り返すことにびっくりしました。私は野菜が苦手です。毎日少ししか食べないので、少しずつ食べて食事のバランスを整えたいです。（女子）

○ぼくのお父さんは毎日たばこを吸っているの、みんなにたばこのけむりがうつること、50年間吸い続けると（たばこ代が）1,000万円になることを実際に言ってみたらとてもおどろいていました。新村先生のおかげでがんについて知ることができました。ありがとうございました。（男子）

○父や母にサードハンドスモークのことについてくわしく伝えたいです。自分が気をつけたいことは、お酒を飲まないことや禁煙、HPVワクチンを打ってずっと健康でいたいです。（女子）

## 【外部講師を利用して】

- ・がんについての子どもたちの知識・関心は個人差が大きいと改めて感じた。
- ・がんという病気への知識と、患者さんに対しての治療やその家族の心、生活に寄り添う医師の話は、実施してみても子どもたちに深く響いていると感じる。

- ・多くの子どもたちがワークシートにびっしりとメモを取り、授業後の感想からもそれぞれの理解の深まりを感じた。毎年、実施してよかったと感じる。

- ・講師が院長先生という立場であったため、直接の打ち合わせはできなかったが、勤務先の医療機関秘書課の方が間に入って快く対応してくださった。ありがたく心強かった。